



皆様に幸あれ！

◎福を呼ぶ「だんごの木」／だんご市（龍蔵寺）

広報 2

百河

2013.2.1 No.87

二十歳の夢 未来に届け！



1月13日、成人式が行われ、本市では689人の方が大人の仲間入りをしました。今の二十歳の皆さんはどんなことを考え、どんな目標を持っているのでしょうか。今月号では、「二十歳の夢 未来に届け！」と題し、新成人4人のインタビューをお届けします。



かけひ まりえ さん (新白河)
寛真里依さん

春からは念願の 保育士として働きます。

「子どもたちが安心して寄ってき
てくれる保育士になりたいです」と
話すのは寛真里依さん。
寛さんは、保育士の母から仕事の
話を聞くうちに、自分も子どもたち
と関わる仕事をしたいと思い、郡山
女子大学短期大学部幼児教育学科に
進学しました。
短大では、1年生と2年生のとき
同じ保育園で実習をしました。最初
の年は人見知りして近寄って来なか
った子どもたちが、2年生の実習の
ときに、子どもたちの方から寄って
きてくれました。
「安心感を与えていたから、子ど
もたちが寄って来てくれたんだよ」

という先生の言葉を聞いて、自分の
気持ち子どもたちに届いていたこ
とがとても嬉しく感じられました。
4月から念願の白河保育園で働く
ことが決まった寛さん。実習のとき
とは違い、責任の重さに不安でいっ
ぱいです。しかし、応援してくれた
家族のためにも、前向きに頑張っ
ていこうと決めました。
「就職が決まったとき、家族がす
ごく喜んでくれました。わがママを
言って迷惑を掛けていましたが、い
つも応援してくれました。そんな家
族に感謝しています。みんなの期待
に応え、一人前の保育士になること
が家族への恩返しになると思います」
一昨年の大地震のときは、祖母と
二人でいたので、他の家族の声を聞
いたときは安心し、家族の大切さを
改めて感じました。また、地震の影
響で入学が1か月遅れたり、教室が
使えなくなったり、不便な生活と不
安を抱える日々を経験し、何もない
平和な日常がいかに幸せなことか身
を持って感じました。
現在は、アルバイトをしながら残
り少ない学生生活を送っています。
接客業のアルバイトでは、笑顔でい
ること、礼儀、積極性が身に付きま
した。
何事にも全力で取り組み、経験し
たことを自らの糧にしていく寛さん。
その目はとても輝いていました。



はがまさのり さん (表郷三森)
芳賀優典さん

20歳をきっかけに 新しいことにチャレンジしたい。

「新しいことにチャレンジしてい
きたい」と話す芳賀優典さん。
今までは、率先してみんなをまと
めることはあまりなかった芳賀さん
でしたが、20歳をきっかけに、新た
なことに挑戦してみようと思い、成
人式の実行委員長に立候補しました。
成人式で述べた謝辞は、とても緊張
しましたが、成人として責任を果た
すことができ、達成感でいっぱいに
なりました。今回をきっかけに、い
ろいろなことにチャレンジしてい
きたいという気持ちが強くなりました。
印刷業の工場で働いている芳賀さ
ん。仕事は夜勤もあり大変ですが、
休日、ドライブに出掛けたり、友人
と遊んだりすることが良いリフレッ
シユになっています。
「将来は自分の家族を持って、大
好きな白河で暮らしていきたい」と
笑顔で話す芳賀さん。明るく充実し
た生活を送る未来の芳賀さんの姿が
目に浮かびました。



おのたっや さん (大信増見)
小野達也さん

自分の周りにいる人たちを 大切にしながら生きていきたい。

「家族や友人、自分の周りにいる
人たちを大切にしながら生きてい
たい」と話す小野達也さん。
研磨の仕事をしている小野さんの
目標は、誰にも負けない磨きの技術
を身に付けることです。そのため、
先輩の真似をしたり、どうやったら
うまくできるか自分で考えてみたり
、真剣に仕事に取り組んでいます。
小野さんには、外では仕事を一生
懸命こなし、家では子どもの面倒を
見たり、家事や農作業を手伝ったり
、仕事と家庭をうまく両立させてい
る尊敬できる兄がいます。また、辛
いときにはお互い支え合うことがで
きる親友がいます。家族や友人が身
近にすることが心の支えになり、自
分にとってはなくてはならない、か
げがえのない存在であることを成人
機に改めて感じています。
将来は「兄のようにになりたい」と
話す小野さんからは、家族や友人を
想う気持ちが伝わってきました。



すずきかずき さん (東形見)
鈴木一樹さん

救急救命士を目指し、 一歩ずつ進んでいます。

「救急救命士になってより多くの
人の命を救いたいです」と話す鈴木
一樹さん。
幼稚園の頃、病気の祖母を助ける
ため、将来は医療関係に携わる仕事
に就きたいと思いました。
そして、救急車に乗って一番最初
に人を助ける救急救命士を目指すこ
とに決めました。救急救命士になる
ためには、消防士としての経験、さ
らには研修を受け、国家資格に合格
する必要があります。今はその夢に
向かって消防士として毎日懸命に働
いています。
人の命を救う仕事には、辛いこと
もたくさんあります。
「救急車で駆け付け、助けられな
かったとき、人の命の重さをひしひ
しと感じます。しかし、より多くの
人の命を救うため、立ち止まらず前
に進んでいかなければなりません」
と話す鈴木さんからは、強い意志が
感じられました。



白河戊辰見聞館 「戊辰白河口の戦い展」

白河戊辰見聞館では、「戊辰白河口の戦い展」を開催しています。3か月にわたる戦闘の中で、約千人の戦死者を出したと言われる戦いの貴重な資料を展示しています。
◎白河戊辰見聞館 (栄蔵) ☎09395



▲「八重のマドレーヌ」

「わ」を使い、分かりやすく対応します。また、案内所には、白河口の戦いを紹介する地図が掲げられ、「八重の彩り」などの菓子を販売しています。



観光客の案内には、観光ボランティア「ツーリズムガイド白河」の会員があたり、最新のパンフレット「戊辰と白河」の案内所「街なか観光案内&おみやげ」が1月17日、栄蔵(中町)にオープンしました。

可愛い巾着の「八重の彩り」はお土産に最適



また、坂本屋総本店(東金子)では、「八重のマドレーヌ」を発表。桜の花と葉の粉末を練り込んだマドレーヌで、桜の風味のしっとりとしたまろやかな口あたりに仕上がっています。

協力店は、菓子舗玉家、御菓子司えんどう、鈴木松月堂、山木屋菓子店、大谷菓子店、坂本屋総本店、大黒屋富士屋洋菓子店、カルム菓子店、美松製菓です。

1月12日、新島八重役の綾瀬はるかさんと内藤慎介プロデューサーが佐藤雄平知事と面談しました。その際、佐藤知事が2人に「白河だるま」を贈りました。

■案内のおもてなし 観光案内所オープン

NHK大河ドラマ「八重の桜」が1月6日からスタート。初回視聴率(総合テレビ放送分)は関東地区で21・4%、福島地区で30・7%と高視聴率でした。今後、ドラマで「戊辰戦争白河口の戦い」が放送され、誘客が期待されることから、案内・物販の拠点施設として(財)白河観光物産協会の案内所「街なか観光案内&おみやげ」が1月17日、栄蔵(中町)にオープンしました。

■お土産のおもてなし オリジナル菓子を発表

新島八重をモチーフにした巾着に、白河の銘菓を詰め合わせた「八重の彩り」。和菓子と洋菓子のタイプがあり、様々な白河菓子の味が楽しめる。観光客のお土産として最適。

■食事のおもてなし 白河そば新メニューを発表

外一蕎麦 蕎太郎(中町)では、「八重の割り」を発表。八重桜を練り込んだ桜切りが2段と外一そばは3段の5段階の子そばで、ニシンの甘露煮など6種類のサイドメニューも付いています。3月には、美つ久利(中町)でも販売予定です。



▲「八重の割り」

新島八重役

綾瀬はるかさんに

「白河だるま」を贈りました

広報紙のこのページでは、綾瀬はるかさんに「白河だるま」を贈る写真を掲載していますが、事務所の意向で、ホームページへの掲載ができません。申し訳ございませんが、ご理解ください。

大河ドラマ「八重の桜」の放送が始まり、戊辰戦争最大の激戦地である本市に観光客が訪れることが期待されています。今月号では、「白河流のおもてなし」と題し、ドラマにちなんだ様々な動きをお届けします。

特集
「八重の桜」で今、まちは・・・。
白河流の
おもてなし

大河ドラマ
「八重の桜」
会津の魂を胸に、激動の時代を力強く生きた新島八重。その波乱の生涯を描いた大河ドラマです。
■放送
NHK総合 毎週日曜午後8時～8時45分ほか



Sakamoto Masaki
坂本正喜さん (28)
金屋町

富岡町出身。本市に避難後、ボランティアスタッフとして献身的にボランティア活動に携わる。昨年4月に念願の消防士としての生活をスタートし、現在は白河消防署に勤務。ふくしま駅伝2012では、富岡町のキャプテンとして活躍する。

「離れてみて、改めてふるさとの良さを実感し、郷土愛が高まりました。どんな形でもいいから貢献したいと思っています。ふくしま駅伝も過去に6回出場していたこと



「田崎隊長（白河消防署）本格的な勤務を始めて4か月。坂本さんの今の思いとは、

「ふくしま駅伝は、走れる限り走り続けたいですね。富岡町チームで」。

ランティア活動を通して、白河の方の心の温かさに触れ、ここ白河で新たなスタートラインに立ち、一歩踏み出そうと決断しました。震災前からも消防士を目指して勉強をしていたので、消防士になれて本当に嬉しいです。昨年の4月から9月までは、県の消防学校に入り訓練を受けました。厳しい訓練でしたが、生活をともにした仲間と、泣いたり笑ったりできて、とても仲間意識が強まりました」。

新たな一歩を踏み出し、新しい「仲間」に巡り合えた坂本さん。富岡町チームのキャプテンとして出場した昨年のふくしま駅伝では、故郷の仲間とも久々の再開を果たしました。

仕事にプロ意識を持つことを常に心掛けて行動します

「はい、こちら白河消防署です」。

ハキハキとした口調で電話の応対をする坂本正喜さん。かねてからの念願をかなえ、消防士として昨年4月から白河消防署に勤務しています。

「親せきがいたので白河に来ました。中央体育館でのボ



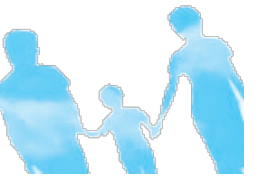
横断歩道での1時間のドラマを毎朝楽しんでいきます

「おはよう。今日も気を付けていってらっしゃい」。表郷金山の交差点に立ち、通学する子どもたちに声をかける佐々木庸太郎さん。氷点下の気温の中でもどこか温かく、やさしく包み込むような声が響きます。

「おととしの9月からこの場所に立ち始めました。始めのころは子どもたちも照れていたのか、なかなか返事が返ってきませんでした。でも次第に声が増えてきました。今ではすっかり顔なじみで、いろいろな会話も交わします。私はこの朝7時から8時までの、1時間のドラマを毎日楽しんでいきます」。

佐々木さんがこの交差点で、交通誘導を始めたきっかけを伺いました。

「浪江町で交通教育専門員を始めて7年目のときに震災がありました。震災後、初めて一時帰宅したとき、真っ先に手にしたのは、町から貸与されていた専門員の制服でした。警察官の制服に似ているので、盗まれて悪用されたら大変だとずっと気になっていました。手にしたときはほっとしたものです。専門員であったことが、表郷の交通安全協会の方に聞こえたのがきつ



◎連続掲載 未来へのたすき

かけで、新たな一歩が踏み出せました。何もすることがないと気が抜けてしまうので、毎日の日課があることはとても幸せなことです。また、この活動で地域の方とのコミュニケーションも深まり、カラオケや飲み会の誘いもいただくようになりました。白河はとても住みやすく、何よりも心がこもった親切を感じます。私の日課で、少しでも白河に貢献できたら嬉しいです。今後も日々、前向きに活動していきます」。



Sasaki Youtaro
佐々木庸太郎さん (72)
表郷金山

浪江町出身。浪江では交通安全協会の副会長を務め、町で2人の交通教育専門員の1人。親せきがいたことから平成23年6月に表郷金山での生活を開始。浪江での経験を生かし、同年9月から毎朝交差点で交通誘導を行い、子どもたちの安全を見守っている。

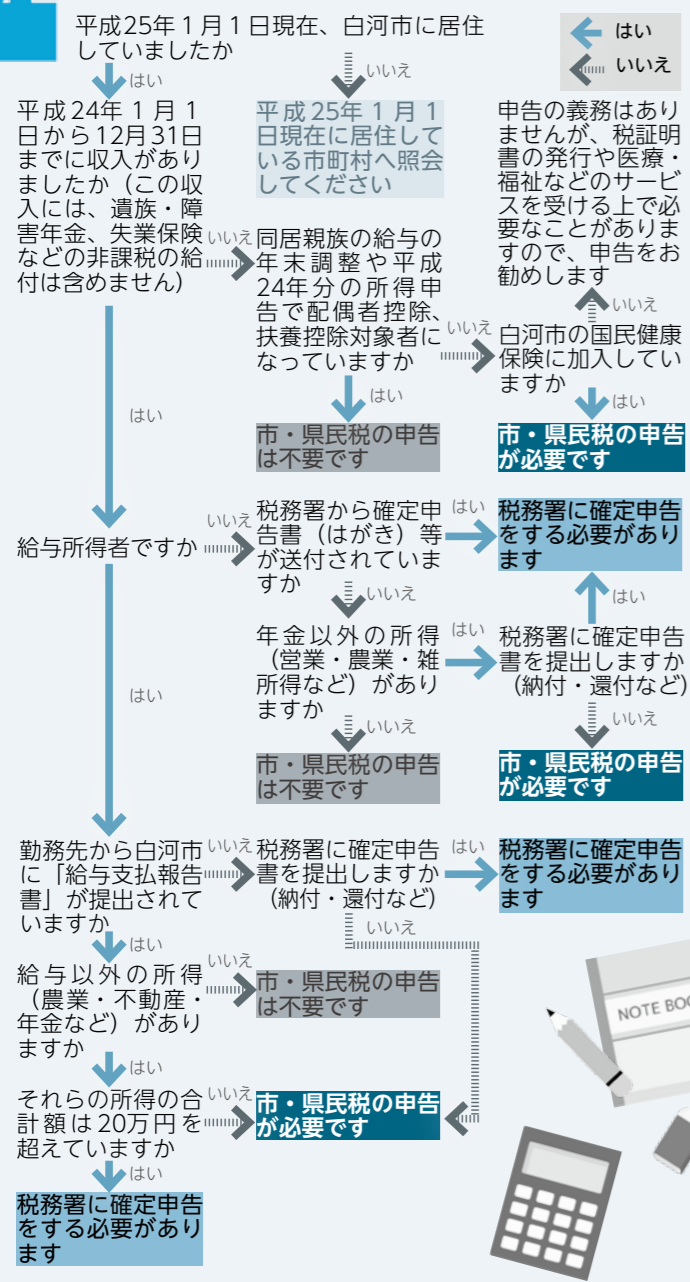
踏み出した一歩

東日本大震災から間もなく2年が経過します。原発事故の影響から多くの方が故郷に帰れず、今なお先行きが読めない状況が続いています。このような苦難の中でも、自分がやるべきことを見だし、頑張る人たちがいます。今月号では、明るく前向きに頑張るお二人にスポットを当てます。

インターネットで確定申告ができます！

パソコンをお持ちの方は、国税庁ホームページ「確定申告書作成コーナー」で申告書等を作成することができます。また、国税電子申告・納税システム（e-Tax）を利用すると自宅や事務所からインターネットを利用した申告書等を作成することができます。ただし、事前に手続きが必要です。詳しくは国税庁ホームページ（http://www.nta.go.jp）をご覧ください。

申告が必要か確認してみましょう！



白河税務署からのお知らせ

税務署では、平成24年分の申告書作成を次の会場で実施します。

- 申告作成会場
市産業プラザ人材育成センター2階（中田）
- 開設期間・時間
2月1日（金）～3月15日（金）／午前9時～午後4時（平日のみ）
※この期間は、税務署には申告会場を設置していませんので、ご注意ください。開設期間以外は税務署が申告会場となります。

■自書申告の推進
会場では、申告納税制度の趣旨から、ご自分で申告書等を作成していただく体制をとっていますので、ご協力をお願いします。

震災による雑損控除等を申告される方へ

本庁舎・各庁舎での申告相談は混雑が予想されます。震災による雑損控除の繰越損失のある方や、平成24年中に住宅などの原状回復のための支出をされた方の申告相談は、白河税務署で行います。それぞれの事情をお聴きしながら計算するため、一般的な申告相談に比べて時間が掛かりますので、これらの内容の相談は、お早めをお願いします。
☎白河税務署 ☎7111（自動音声応答案内の指示に従ってください）

平成25年度の主な税制改正

- 生命保険料控除の改正
平成24年1月1日以後に契約した保険契約等について、生命保険料控除が次のとおり改正されました。
- 介護医療保険料控除を新設
- 一般の生命保険料控除、個人年金保険料控除それぞれの適用限度額を改正（平成23年12月31日以前に契約した保険契約等は変更なし）

申告の期限は3月15日（金）までです。申告が必要な方は、忘れずをお願いします。

“税”の申告

- ◇期間 2月8日（金）～3月15日（金） ※平日のみ
- ◇時間 午前の部 9時～11時30分
午後の部 1時～4時30分
- ◇会場 白河地域＝本庁舎5階 正庁
表郷地域＝表郷庁舎2階大会議室
大信地域＝大信農村環境改善センター（大信庁舎仮事務所）
東地域＝東農業技術センター2階（東庁舎隣り）

【問い合わせ先】

- ◆本庁舎課税課 ☎21111
内2127・2128・2129
- ◆各庁舎総務課
表郷 ☎2112
大信 ☎2113
東 ☎2112

今日の授業は大事だよ～

先生

申告が必要な方

市役所で申告が必要と思われる方には、1月下旬に案内を送付しました。指定された日時に来庁できない方は、期間中の都合の良い日にお越しください。

申告はとても大切です！

申告をしないと、所得・課税証明書などの各種証明書の発行、国民健康保険税や後期高齢者保険料における無収入などの場合の軽減措置、介護保険料における所得段階の決定などが適正にできなくなります。該当する方は、必ず申告をしてください。

■申告の案内がなくても申告が必要な方

平成25年1月1日現在、市内に住所がある方で、次のような方は申告が必要となる場合がありますので、ご確認ください。

- 無収入で、市内在住の家族の扶養になっていない方
- 前年中に仕事を辞めた方や新たな収入があった方
- 市役所での申告が必要のない方
- 税務署で申告される方
- 給与収入だけで年末調整が済んでいる方
- 市内在住の家族の扶養になっている方
- 税理士へ申告の依頼をしている方

申告に必要なもの

- ①印鑑
- ②平成24年分の源泉徴収票（給与、年金収入の方）
- ③平成24年中の収入、必要経費をまとめた帳簿（個人で事業、農業などをしていた方）
- ④平成24年中の生命保険料・地震保険料などの控除証明書、健康保険・年金・寄附金などの領収書や証明書、医療費の領収書など（必ず集計をしてご持参ください）
- ⑤障害者控除を受ける方は、障害者手帳など
- ⑥本人の口座番号が分かるもの（通帳・キャッシュカードなど）※還付を受ける際に必要です。

納付額が分からない場合は？

国民年金保険料で、領収書などを紛失し、納付額が分からない場合は、日本年金機構白河事務所（郭内）で納付額の証明を受けることができます。
☎日本年金機構白河年金事務所 ☎4161（自動音声応答案内の指示に従ってください）

インフルエンザへの対応として、申告会場では職員がマスクを着用して対応する場合がありますので、ご理解をお願いします。また、ご来場される際には、感染予防のご協力をお願いします。なお、申告書は、郵便・信書便またはe-Taxでも提出することができます。



未来の

たまご

Interview 各部長に聴く！「市の主要事業」

「大信庁舎」の主要事業

No.10

皆さんの協力を得ながら、除染事業を重点的に進めていきます。



大信庁舎 振興事務所長 Kanazawa Takao 金澤隆夫

組織図	
大信庁舎	総務課 6人
	市民福祉課 9人
	事業課 7人
	教育振興課 5人

このほかに、災害復旧事業、日和田集会所の建設、市道大信147号道路改良工事(下新城地内)、水道老朽管敷設替工事(滑里川地内)等を実施し、住みやすい環境づくりに努めています。

地域の様々な事業を継続・成功させるポイントはどんなことですか。

基本的なことですが、関係する方々に事業の目的と内容を丁寧に説明するとともに、誠意を持ってご意見やご要望を聞きながら事業を進めることが大切であると思います。

今年度、大信地域で行われている主な事業はどんなものですか。

まず、放射性物質の除染事業です。昨年5月に地域の皆様のご理解を得て、仮置き場が限戸字午房沢地内の旧大信牧場の市有地に決定し、昨年12月からは搬入を開始しています。また、小中学校等の教育施設をはじめ、庁舎、公園、集会所等の公共施設の除染を進めています。個人住宅については、赤仁田・日仙町内会をモデル地区として除染を行い、その後、比較的線量が高い限戸地区から実施する予定です。信夫地区は、平成25年度から皆さんの承諾を得て実施する計画を立てています。

市の主要事業を紹介する「未来のたまご」。

新たな事業(卵)を孵化させ、大きく空に羽ばたかせようとする市政の動きを、各部長のインタビューを通して皆さんにお伝えします。

ビジネス アイデア コンテスト 2012

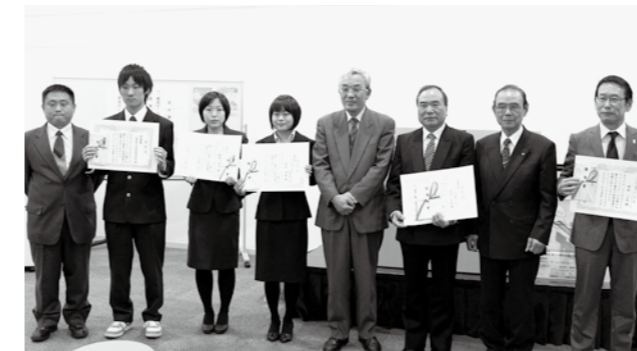
地域の魅力発見！

新ビジネスへの発展が期待できる商品・企画が決定

しらかわ地域の産業を支援している(社)産業サポート白河では、起業家の育成による地域産業の活性化を目的に、ビジネスアイデアコンテストを行っています。

今年で3回目となるコンテストの表彰式が、1月8日、市立図書館(道場小路)で行われました。

47件の応募の中から選ばれた、新たなビジネスへの発展が期待できる受賞商品・企画を紹介します。



▲受賞者の皆さん



最優秀賞

『白河甲冑だるま』

鈴木芳旺さん(会津町)



市の重要文化財に、武田信玄ゆかりの「盾無鎧」があります。その盾無鎧をモチーフにして作成した兜を白河だるまにかぶせたのが、「白河甲冑だるま」です。兜は厚紙で作っているのであまりコストがかかりません。また甲冑だるまをケースに入れると、結婚式の引き出物や端午の節句などの贈り物にすることができることもポイントです。

白河の新しい創作土産として期待できる、完成度が高いものとなっています。



優秀賞

『しらかわ地域の温泉宿における健康増進合宿』

倉本孝雄さん・綾さん(神奈川県茅ヶ崎市)

白河地域の温泉宿で、医師・看護師・保健師・鍼灸師による健康支援プログラムの実施、健康指導、健康相談の合宿を行う企画です。



優秀賞

『しらかわ愛でるこめっ粉ソフトクリーム』

岡村三夫さん(郡山市)

白河ブランド「きつね米」を使用した米粉の生地、ソフトクリームと南湖だんごを入れたスイーツ。生地表面には、白河だるまの焼印が入っています。



特別賞

『新米ママのための産後ケアホーム』

鈴木文子さん(西郷村)

出産後、母親と新生児が入居し、スタッフから子育てのアドバイスを受けたり、産後の体調を回復できる施設の提案です。



特別賞

『旅心コンテスト』

佐藤泰山さん(西郷村)

市ホームページに「旅心、定まりぬ」コーナーを作り、旅心を感じたときの写真や映像を募集し、講評していただくコンテストです。



団体賞

『白河らーめんにぎり』他23件

光南高校(矢吹町)

高校のクラスの課題授業の一環で、生徒の皆さんが考えたアイデア。白河らーめんにぎりをはじめ全部で24件です。

☎(社)産業サポート白河 ☎217361

消防指令センターが仮運用を開始します

☎白河地方広域市町村圏消防本部 ☎2157

白河地方広域市町村圏消防本部では、2月25日(月)から、白河消防本部通信指令センター(以下、消防指令センター)の仮運用を開始します。

これにより、119番の受け付け先と出動などが次のように変わります。



▲消防指令センター完成予想図

☐受付先

各消防署(白河・棚倉・矢吹)で対応していた119番通報を、「消防指令センター」で一括して受け付けます。

☐場所の特定

「総合型位置情報通知装置」により瞬時に通報場所を特定し、最も近い消防車や救急車を出動させるので、最寄りの消防署・分署に通報するより速く現場に到着できます。

☐受付方法

聴覚・言語機能に障がいのある方、そのほか音声による119番通報が困難な方(原則として身体障害者手帳の交付を受けている方)を対象に、電子メールで119番通報ができるようになります(別途登録が必要です)。